

2022年度 関東支部運営委員会（第1回） 議事録

日時：2022年7月19日（火）10:00～12:00					会場：電子会議			
支部長	菊池 喜昭	○	副支部長	見坂 茂範	×	副支部長 発表会Gリーダー	峯岸 邦夫	×
副支部長	佐原 守	○	副支部長	栃本 泰浩	○	支部監事	吉田 潔	○
支部監事	海野 寿康	○	幹事長	桑野 玲子	○	副幹事長	立石 亮	○
副幹事長	金田 一広	○	山梨県G リーダー幹事	後藤 聡	×	茨城県G リーダー幹事	松島 亘志	○
栃木県G リーダー幹事	西村 友良	×	群馬県G リーダー幹事	関 崇夫	○	神奈川県G リーダー幹事	早野 公敏	×
千葉県G リーダー幹事	若月 洋朗	×	埼玉県G リーダー幹事	内村 太郎	×	研究委員会G リーダー幹事	伊藤 和也	○
会員SG リーダー幹事	三上 武子	○	会員SG リーダー幹事	山中 光一	○	副支部長代理	小松 輝男	○
本部連絡幹事	山田 祐樹	○	支部発表会G 代理幹事	藤原 覚太	○	栃木県G 代	清木 隆文	○
事務局	青木 美智子	○						

○：出席予定，×：欠席予定，△：遅刻予定，空欄：未定

### 1. 前回議事録等の確認

→菊池支部長から挨拶があった。  
初回なので自己紹介を行った。

・2021年度第4回運営委員会議事録（2/28）

【別紙－1】

→桑野幹事長より議事録確認を紹介した。

・2022年度第1回企画総務グループ幹事会議事録（6/28）

【別紙－2】

→桑野幹事長より議事録確認を紹介した。

### 2. 最近のスケジュール

・第64回通常総会（本部）：2022年6月14日（火）14:00-16:45（オンライン）

・2022年度第1回運営委員会：2022年7月19日（火）10:00-12:00（オンライン）

・第57回地盤工学研究発表会（本部）：2022年7月20日（水）～22日（金）（ハイブリット）

・第19回地盤工学会関東支部発表会 GeoKanto2022：2022年11月24日（木）25日（金）  
（オンライン）

→桑野幹事長より説明があった。

### 3. 本部・他支部に関する連絡・報告・検討依頼事項

報告

(1) 3/15ㄉ切：「地盤工学会誌」2022年度読者モニター推薦のお願い（提出済）

【別紙－3】

(2) 3/31ㄉ切：「地盤工学会誌」支部編集委員について（提出済）

【別紙－4】

(3) 第57回地盤工学研究発表会期間中のZoomアカウント利用不可の件

【別紙－5】

(4) 2022年度本部支部連絡協議会開催のご案内及び資料確認のお願い（回答済）

【別紙－6】

(5) 3/17開催「支部長会議」オンラインについて

【別紙－7】

→菊池支部長から、今回を皮切りにいろいろなレベルで全支部対象の Web 会議など開いたらよいのではないか、という話があったことが紹介された。

- (6) 第 9 期代議員当選人決定のご連絡 【別紙－ 8】
- (7) 7/8 切：災害連絡会議 「地方委員」 「地方連絡委員」 確認のお願い（提出済） 【別紙－ 9】
- (8) 訃報

元監事、名誉会員、功労章受章 米倉 亮三（よねくら りょうぞう）様（94 歳）  
元関西支部副支部長、名誉会員、功労章受章 福住 隆二（ふくずみ りゅうじ）様（91 歳）  
→桑野幹事長より説明があった。

#### 4. 支部からの周知・連絡・検討事項

##### 報告

- (1) 2022 年度支部役員体制について 【別紙－10】
- (2) 2022 年度関東支部総会議事録 【別紙－11】
- (3) 【月刊誌「基礎工」】 GeoKanto 写真掲載に関するご確認のお願い 【別紙－12】
- (4) 「地盤工学のあり方ー応用地質学と地盤工学の協働を考えるー研究会」報告および提言（案）URL リンク貼付けについて 【別紙－13】
- (5) 2022 年度予算執行状況について（5 月末現在） 【別紙－14】

→青木様から説明があり、まだ 5 月末なので各グループの活動はなく、支出は少ない。  
収益は 6 月 30 日に開催した「既存杭の撤去・埋戻し方法とその影響を受ける新設杭の設計・施工」新設杭に干渉する既存杭の撤去に関する研究委員会」報告会の参加費を計上。  
→桑野幹事長より説明があった。

##### 検討

- (6) 関東大震災 100 周年（2023 年 9 月）について 【別紙－15】  
→菊池支部長から説明があった。  
来年の 9 月くらいに開催できればと考えている。講演会、1 日か、リレー方式など開催方法はいろいろあるかと思う。テーマは地震動、液状化、火災、津波、斜面災害など個別の被害について、地域（東京、横浜など）の被害についてなど。企画総務グループで大枠を考えてほしい。  
→伊藤先生：今年度の研究委員会はゼロなので研究委員会で検討できるかもしれないが、来年度のことなので少し検討する必要はある。
- (7) NHK ブラタモリ報告書と講演会・見学会開催について 【別紙－16】  
→千葉県グループ、神奈川県グループで検討できないか。青木様から連絡してもらうこととなった。県グループでの対応が難しい場合は、会員サービスグループでも検討いただく。
- (8) 後援依頼：8/30（火）（一財）災害科学研究所 「切羽前方探査の最前線およびDX時代の地山評価と利活用」講演会 【別紙－17】
- (9) 後援依頼：10/21（金）（一社）全国建設発生土リサイクル協会「土サミット 2022」 【別紙－18】
- (10) 後援依頼：11/29（火）（一社）STTG 工法協会「止水技術フォーラム」 【別紙－19】  
→講演依頼を承認した。
- (11) 2022 年度地盤工学会関東支部賞の募集について 【別紙－20】  
→菊池支部長から説明があった。追記の文章について特段問題はないとの意見であった。

- (12) 2022年度 運営委員会の開催日について 【別紙-21】
- (13) 2022年度 商議員会の開催日及び特別講演会の内容について //
- (14) 2023年 関東支部総会の開催日及び特別講演会の内容について //
- 桑野幹事長より説明があった。第2回以降の年間のスケジュールをあらかじめ決める方向にする。総会や商議員会は予算などその他の状況を見て今後決める。
- 菊池委員長からご意見があり、現在もコロナ禍であることから、第1回商議員会は8月中旬以降にオンライン化対面開催かを決めたらどうか。特別講演会を行う場合外部の先生に依頼するより、研究委員会で終了している末岡委員長の地質学か桑原先生の杭の話ではどうか、とのことであった。

## 5. メール審議決定事項

- (1) 2/14 共催依頼 2/28 開催 茨城大学・茨城県地域気候変動適応センター・(一社)地域国土強靱化研究所「CNオープンセミナー」
- (2) 4/5 共催依頼 5/18・5/25 開催 (一社)地域国土強靱化研究所 (一財)土木研究センター 第2回技術講座「最近の防災・減災技術」
- 桑野幹事長より説明があった。

## 6. 開催結果、進捗状況の報告(前回運営委員会以降、開催分を記載)

- (1) 2/28 共催行事：茨城大学 CN オープンセミナー特別企画シンポジウム「気候変動対応を通じた地域の活性化【オンサイトとオンライン・開催済】
- (2) 4/23 特別講演会「土の締固め-古い課題の新たな展開-」参加者：233名【ZOOM ウェビナー・開催済】
- (3) 5/18・5/25 共催行事：第2回技術者講座「最近の防災・減災技術」(一財)土木研究センター・(一社)地域国土強靱化研究所 参加者：各88名【オンサイトとオンライン・開催済】
- (4) 6/30 「既存杭の撤去・埋戻し方法とその影響を受ける新設杭の設計・施工」新設杭に干渉する既存杭の撤去に関する研究委員会報告会 参加者：259名【ZOOM ウェビナー・開催済】
- (5) 7/2 共催行事：(一社)地域国土強靱化研究所「設立2周年フォーラム」参加者：30名【オンサイトとオンライン・開催済】
- (6) 7/6 ～ 昭和・平成を駆け抜けたベテランが令和に語り継ぐ～第3回「ジオテク語りべ会」参加者：約100名【ZOOM ミーティング・開催済】
- (7) 9/27 後援行事：「インフラ分野におけるDX-変革に向けて-」講演会 (一財)災害科学研究所
- (8) 12/8・12/9 「土の締固め管理の合理化に関するシンポジウム」
- 桑野幹事長より説明があった。

## 7. グループ別の実施計画・進捗状況・その他報告事項

- (1) 会員サービスグループ 【別紙-22】
- 三上幹事から説明があった。今年度は行事を開催する方向で検討している。
- 山中先生から補足があった。今までは500円から1000円程度の参加費をお願いしていたが、オンラインなどで実質それほどかからず、逆に振込手数料などがかかるため現在は無料としているとの話があった。会計上赤字となるため、どのような参加費の徴収方法がいいか検討することと

する。

- (2) 茨城県グループ なし  
→松島先生から説明があった。コロナ前には研究所巡りを行っていたが、最近はできなくなった。引継ぎ検討している。
- (3) 栃木県グループ 【別紙-23】  
→清木先生から説明があった。コロナ禍のため、県グループ幹事のみでの参加で見学会を7/22に開催予定。今後は県外の会員も参加できる見学会を検討。
- (4) 群馬県グループ なし  
→関先生から説明があった。見学会、講演会を検討中。
- (5) 山梨県グループ なし
- (6) 千葉県グループ 【別紙-24】  
→山中先生から説明があった。見学会、講習会11/15を計画中。
- (7) 埼玉県グループ なし
- (8) 神奈川県グループ なし
- (9) 研究委員会グループ 【別紙-25】  
→伊藤先生から説明があった。  
中空ねじりの委員会の研究委員会の延長について承認された。菊池委員長から延長した場合の成果普及委員会までを含めたスケジュールについてまとめてほしいとの意見があった。  
コロナ禍で委員会活動が計画通りにいかず、活動期間を延長している研究委員会が多く、盛土締め委員会は12/8, 12/9にシンポジウム開催との報告があった。
- (10) 支部発表会グループ 【別紙-26】  
→藤原先生から説明があった。  
11/24、11/25のオンライン開催で、昨年と違う点は希望者のみ論文概要集を作成。聴講参加費は無料で当日の受付も可能。スポンサー依頼の協力を依頼。菊池先生から学生にもっと発表させてほしいとのお願いがあった。

## 8. その他

(1) 退会届

なし

(2) 新入会

- ・(株) クレアテック (4級)
- ・(株) エポック (4級)
- ・石坂産業(株) (4級)

(3) 次回打合せ：2022年 月 日 ( ) 予定 (前年度は7月9日開催)